

田中裕規 議員レポート

2019年(令和元年) 10月号 No.9

秋晴れの候、みなさまにおかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

今回は、9月3日~9月19日で開催された令和元年第4回三原市議会定例議会の状況報告と活動状況をみなさまにご報告致します。

1. 三原市の人口動向と後期総合計画について

本市の将来人口は、2015年の96,194人から、2040年に71,669人(25.5%減)、2060年に53,185人(44.7%減)になる予測が出されました。人口減少は避けられませんが、5年前と比較して下方修正されており、これは本市の前期総合計画(2015~2019)が成功していないことを示しています。

現在、後期総合計画を策定中ですが、これまでの計画の問題点を大きく3つ指摘しました。

- ① 政策が総花的で特徴が無い。政策に独自性がない!
(よって、魅力のある街にならない)
- ② 本市の目指すべき姿が抽象的。どんな街を目指すのかが不明瞭!
(芯になる政策が出ない)
- ③ 総合的な成果指標がない!
(色々やっているが、変化が感じられない)



三原市議会議員
田中ひろき

2. 9月定例議会一般質問で問う

9月の定例議会の一般質問では、(1)廃校となっている元小学校等の遊休公共施設の利活用促進について、(2)三原城本丸跡にある三原駅の観光活用についてを、本市へ提案しました。

以下に、一般質問の概要を示します。

(1) 遊休公共施設の利活用促進について

- 【質問】
- ①市所有の廃校となった旧校舎や体育館はいくつあるのか。
 - ②それらの年間の維持管理費はいくらか。
 - ③元さぎしま青年の家(旧須ノ上小学校)の売却に関する一般競争入札の公募状況は。
 - ④民間やNPO等による廃校の利活用を促進するために、優遇条件を盛り込んだ遊休公共施設の利活用促進条例を制定してはどうか。

- 【答弁】
- ①元小学校は17施設あり、校舎は17棟、体育館は16棟ある。
 - ②管理委託料等の全ての合計年間経費は、約5390万円になる。
 - ③8月末に入札参加申込を受け付けたが、参加申し込みはなかった。
 - ④元小学校の利活用が、雇用の機会を創出し、地域の活性化に繋がるのであれば、市と地域の双方に恩恵があるため、課題について研究を進め、条例制定も含めて検討する。

※ 過疎化が進む中山間地域に残された元小学校を、民間やNPO等が利活用しやすくするために、減額譲渡や低額賃貸等を可能とする遊休公共施設の利活用促進条例を制定してはどうかと問いました。
負の財産をそのままにせず、地域活性化のために有効活用を推進する条例です。

- ◇ プロフィール
- 1959年8月9日生
東京農工大学工学部
大学院卒
元帝人(株)社員
家族構成
妻と息子3人
- ◇ 連絡先
- 三原市港町三丁目
16番13号
携帯 090-7137-0440
FAX 0848-64-8911

(2) 三原駅の観光活用について

- 【質問】①三原城跡周辺整備事業が H28 年度末に完了しているが、観光客の増加等、事業効果は見られているのか。
②本市第 2 次観光戦略プランでは、三原ならではの強みとして歴史の活用を推進している。三原城本丸跡を横切る JR 三原駅は、全国でも例のない駅であり、閉館となった「みはら歴史館」の展示物を利用し、資料館を伴った城郭風でインパクトある駅に改装してはどうか。



(桜山から見た三原城跡 明治 36 年)

- 【答弁】①観光統計調査において、三原城跡の観光客数は整備前の H28 年が約 28,000 人であったが、整備後の H29 年は約 73,000 人、H30 年は約 44,000 人と、一定の効果は見られている。
②JR 三原駅は、全国的にも例のない観光資源である。「みはら歴史館」の展示物の活用も含めた駅の整備については、JR 西日本と協議を進め、具体的に検討していきたい。

※ 本市は観光が産業の柱のひとつとなるよう力を入れていますが、核となるものはありません。三原ならではの強みの活用として JR 三原駅を城郭風に整備し、**三原の歴史を感じられる駅に変えよう**とする提案です。まずは観光の起点として整備できないかと考えています。

3. トピックス



◆ ペアシティ三原西館再編事業

2～4 階を、児童館・多目的ホール・老人大学・中会議室へ、1 階北側を民間活用スペースへ改装するための費用が補正予算で可決され、今期から工事が進められます。総額は約 7 億円で、内部改装費の他に空調機器更新や照明 LED 化、トイレ洋式化工事が含まれています。

◆ 市民との意見交換会の開催予定

3 つある常任委員会がテーマを決め、市民のみなさまとの意見交換会を開催します。私の所属する経済建設委員会は、テーマ「中心市街地に観光客を呼び込む方策」について行います。面白いご意見やアイデアをお持ちの方は是非参加ください。

(経済建設 11/20、総務財務 11/22、厚生文教 11/23：詳細は、議会だより 11 月号を参照方)

4. 活動報告 & お知らせ

(1) 第 30 回さぎしまトライアスロン記念展示会開催

さぎしまトライアスロン大会が第 30 回を迎え、記念行事として 8/8～19 まで、JR 三原駅構内で記念展示会を開催しました。多くの方にご参加いただき、市スポーツ振興課と企画し、大勢の方にご来場頂きました。(写真提供は、鷺浦町藤原さんにご協力頂きました。)



(JR 三原駅内展示場前にて)

(2) 「地域創生における地域経営」について議員・職員研修会開催

議員有志 4 名で、関東学院大学の牧瀬先生をお招きし、8/21 に「地域創生における地域経営」についてご講演いただきました。議員の他、市職員約 40 名も聴講し、人口減少時代の自治体経営について勉強しました。



(3) 議員インターンシップ(就業体験)での活動成果発表会開催

夏休みを利用して議員について就業体験する大学生 3 名を受け入れました。三原の観光関連団体の方々と意見交換をしながら、**JR 三原駅の歴史活用**についてまとめ、9 月 30 日に関係者を集め市庁舎でプレゼン(提案)を行いました。



(観光課との意見交換風景)

5. あとがき

西日本豪雨災害から1年、今度は佐賀県で豪雨災害、千葉県で台風災害が発生しました。ここ最近は、数十年前に比べて1時間の降水量50mm以上の大雨回数が1.5倍以上になり、大型台風の直撃も増えつつあります。異常気象が異常気象でなくなりつつある現在、災害は起こるものという前提で日頃から準備をしておく必要があります。9月1日は「防災の日」ですが、1月17日、3月11日の大地震の他にも本市では7月6日を忘れることはできません。

<市民のみなさまからのご意見・ご要望をお待ちしています!!>

- 駅前の賑わい創生のためのアイデアについて
- いま困っていること
- 三原の将来について、してほしいこと
- 行政や関係団体などの課題について 等

【連絡先】 E-mail : h.tanaka1@kem.biglobe.ne.jp
携帯電話 090-7137-0440